



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和8年3月24日(火)
第 6 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0155-55-2121
FAX 0155-55-2122

「やわらかな心を」

校長 佐藤 貴雄

現代は先行き不透明な時代とも言われており、英語の頭文字をとって「VUCA時代」と呼ぶそうです。この言葉の由来は英単語の頭文字からくるもので、それぞれ「変動性」「不確実性」「複雑性」「曖昧性」を表し、将来の予測が極めて困難な現代社会を指す言葉として生まれました。特徴としましては、AI技術の進化やパンデミック、あるいは異常気象などの激しい環境下で従来の成功体験や固定概念が通用しない時代だそうです。確かに実感として「変わったな」と感じることは多々ありますし、「前とは違う…」ことも多々あるように思います。

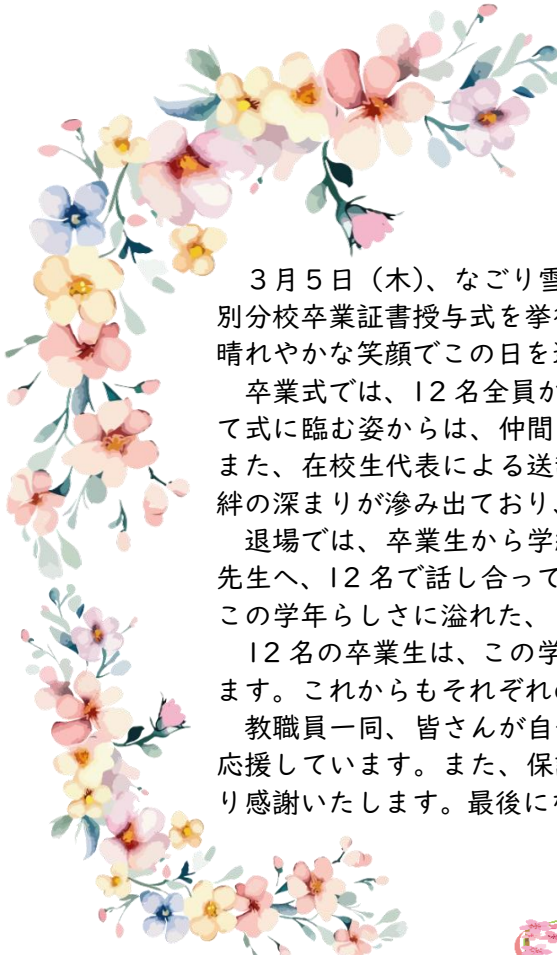
「見通し」という言葉があります。これは人が本能的に不確実性を怖がるために安全と安心を確保しようとするために見通しを持ちたがるそうです。ゴールが見えているので効率的なアプローチができたり納得感が得られたりする場合もあるそうです。しかし、上記したように今は「VUCA時代」と言われ非常に見通しが持ちにくい状況になっています。私もよく「見通しが…」という言葉を使いますが、不確実な見通し程、危険なものはありませんし、ことわざにもある「捕らぬ狸の皮算用」のように、なっぺはいけないと思います。

そんな今だからこそ、覚えておいてほしい考え方があります。一つ目は「OODAループ思考」というものです。これは「みる」「わかる」「決める」「動く」の英語の頭文字をとって名付けられた考え方です。現状を見て即座に対応・改善を繰り返していく考え方で、トラブルの対応や先が見えない時の対応に非常に効果的です。二つ目は「柔軟性と臨機応変な行動」です。従来の計画に縛られず、変化に即座に適応することです。この二つの考え方、共に一つの共通点があります。「現状をしっかりと把握すること」と「必要以上に先を決めない」ということです。変化の激しい時期だからこそ必要な考え方だと思います。生徒の皆さんにはぜひ、この二つの考え方を学び変化に強い「やわらかな心」を育ててほしい、そう切に思います。

この育ててほしい「やわらかな心」にはもう一つの意味があります。それは、他の人に対しての「やわらかな心」です。やわらかい心で相手のことを思い、考え、想像して接してほしい、そういう願いも込められています。昨今 SNS での誹謗中傷など、人との関わりが大きな課題として社会問題にもなっています。そんな時代だからこそ、人との関わり、ぜひ「やわらかい心」を意識してください。

令和7年度も本当に様々なことがありました。これから先もきっと、変化の大きい時代になっていくことと思います。そんな社会で生きていく生徒の皆さんに今年度最後の想いとしてお伝えしました。ぜひ次年度、時々で構いませんので気にして学校生活を過ごしてくれると嬉しいです。

保護者の皆様には、今年度の本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。次年度におかれましても、ご協力をよろしくお願いいたします。



3月5日(木)、なごり雪がちらつく中、令和7年度第11回北海道中札内高等養護学校幕別分校卒業証書授与式を挙行いたしました。12名の卒業生は、天候の不安を打ち消すような晴れやかな笑顔でこの日を迎え、お互いの門出を祝福しました。

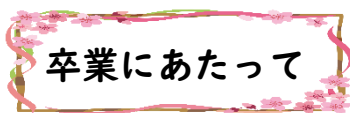
卒業式では、12名全員が胸を張って登壇し、校長から卒業証書を受け取りました。凜として式に臨む姿からは、仲間と共に歩んできた3年間の努力と確かな成長が感じられました。また、在校生代表による送辞や、卒業生代表による答辞には、この学校で過ごした仲間との絆の深まりが滲み出ており、温かい言葉の一つ一つに、心を打たれました。

退場では、卒業生から学級担任へ、感謝の言葉を送る場面がありました。お世話になった先生へ、12名で話し合っ準備を進めたサプライズ企画で、チームワークを大切にしてきたこの学年らしさに溢れた、とても感動的な巣立ちとなりました。


12名の卒業生は、この学校で培った経験と仲間との大切な思い出を胸に、新たな道へ進みます。これからもそれぞれの場所で、それぞれの歩調で、前進されることを願っています。

教職員一同、皆さんが自分の良さを発揮し、夢や目標に向かって活躍されることを心から応援しています。また、保護者の皆様におかれましても、これまでのご理解とご協力に心より感謝いたします。最後になりますが、改めまして、皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業式担当



卒業にあたって




3年生のみなさん、保護者のみなさんご卒業おめでとうございます。2年11か月の担任でしたが、色々ご協力いただきありがとうございました。今と3年前の写真を見比べると本当に幼い表情で写っています。それから3年、卒業生は学校祭や実習など日頃の成果を発揮しようと全力で取り組み結果を出し、生徒それぞれが、心も体も大きく成長しました。

3年生は、18歳で成人となり4月からは社会人です。これからも夢と希望をもち続け、生涯学習というように「いつでも、どこでも、だれとでも」、なんでもできるように豊かな人生を送るために成長し活躍されることを期待しています。

人生100年と言われ、幕別分校での学校生活はわずか3年でしたが、学んだことを実践できることが大切です。チャンスを掴み何事にも挑戦して欲しいです。


3年1組担任





第一印象は「クールな学級」だった2組もそれぞれの個性が光り、協力し合える学級になっていたと思います。この3年間、色々なことをチャレンジしたり、学んだりしてきたことは、みなさんの経験値として積み重なり、確実に自分自身の力となっています。みなさんの成長をほほえましく見ながら、私自身もみなさんからたくさん学ぶことができました。

4月からは自分たちで決めた進路にそれぞれ進んでいきます。社会に出るということは楽しいことばかりではありません。学生の時には無かった社会人、そして成人だからこそその「責任感」を背負っていくこととなります。このプレッシャーに負けず、この学校で学んできたことを生かし、前向きな気持ちで過ごしてほしいです。みなさんそれぞれの良さを伸ばしてこれからも成長し続けてくれることを期待しています。

最後になりますが、高校生活という貴重な時間の中の2年間、担任としてみなさんとたくさん関わることができたことを感謝しています。2組のみなさん、卒業おめでとう！



3年2組担任




1年を振り返って

幕別分校では「3年間で一番忙しい学年だ」と言われている2学年。絶え間なく続く学校行事や実習、受注作業に追われながらも、無事に1年間を終えることができました。

2学年は、実習や見学旅行の他にも、学校以外の場所で学習する機会が多くありました。そこで様々な体験をし、多くの人と出会い一緒に活動する経験を通して、生徒達はたくましく、頼もしく成長していったように思います。また、自分の長所や課題も明確になり、進路について真剣に考えることができました。

4月からは最上級生となります。後輩達の模範となり、幕別分校を引っ張っていく存在になれるよう、更なる成長を期待しています。また、希望の進路を実現するため、それぞれが前向きに努力し、挑戦を続けてほしいと心から願っています。卒業まで残り1年。2年1組の皆さんならきっとできると信じています。


2年1組担任



2組では担任が変わり、さまざまな変化のある一年でしたが前向きに、共に一生懸命歩み続けてくれました。2年生は特に行事が多く、学校行事に加えて、二度の現場実習やデュアル実習、見学旅行などてんでこ舞いになりながらも充実した日々を過ごしました。気がつけば一年はあっという間でしたが、その中で一人一人が自分の進路や課題と真剣に向き合い、「自分で決める」という決断を重ねてきた一年でもありました。

4月からいよいよ3年生です。9月には前提実習という就職試験を控えています。これまで先輩の姿から学んできたように、今度は良き手本として後輩を導き、自らの進路実現に向けて「できた!」を積み重ねて成長していく姿を期待しています。

2年2組担任




授業の教室を探し、広い校舎の中を何度も行ったり来たりしていた入学当初の姿を懐かしく思います。1人ずつ忘れものを取りに戻るため、なかなか授業を始められないことも…話し合い活動では、自分の意見はしっかり出せるのですが、まとめていくことが難しく、熱い思いに溢れすぎている学級目標ができました。

そんなみなさんも、今では自分で掲示板を確認して、始業時間に間に合うように行動し、必要なものを持ったか、お互いに声を掛け合えるようになりました。それぞれの個性を認め合いながら、学校祭や宿泊研修などの大きな行事も成功させることができました。

春から2年生。今「できる」ことは、いつでもどこでも「当たり前」ようにしていきたいですね。また、苦手なことには、どのような工夫や周りからのサポートがあれば付き合えるか考えながら、自分の他の強みでカバーしていけると良いなと思います。まだまだ秘められているみなさんの才能が、これからどのように開花していくか楽しみです。

1年1組担任



毎日が強烈な個性のぶつかり合い、一人ひとりの性格が全く異なる2組男子8人。初めは周囲とうまくコミュニケーションが取れずに、悩んだ人もいたことでしょう。しかし、学校生活を通じてだんだんお互いの違いを認め、相手の良さを発見することができるようになってきました。どのような場でも自分の良さを発揮し、発言できる場所は素晴らしいところです。2年生になると周囲から求められることも変わります。これまで先輩から教えてもらったことを、次は後輩に教えていく立場になります。また、自分の進路についても真剣に向き合わなければなりません。実習や行事で、おそらくとても忙しそうです。でも、皆さんならきっと大丈夫。「一步を踏み出す勇氣」をもって、自分らしく、2年生になっても活躍してくれることを楽しみにしています。

1年2組担任

